

# 篆 刻 研 究

## 篆刻研究

佐藤 焯 水

今月の課題は「思無邪」とする。

今月の課題は論語の為政編の「子曰 詩三百 一言以蔽之 曰 思無邪」から転借した「思無邪」とする。訓読は「子曰く 詩百編 一言以て之を蔽おほう 曰く思おもい邪よこしまなし」とで、意味は「孔子先生がおつしやるには、詩経の詩の数は全部で約三百篇あり、その詩の内容は多種多様で当時の人たちの心が吐露とろされている。そして、これらの詩には邪心がなく、実に純粹なものであった」といったところか。

「詩経」の実数は三百五篇で、古くは「詩」といわれたが、宋の時代に朱子学を打ち立てた「朱熹」により「詩経」と改められた。

参考作品



高田 碧波



津川 瑞祥

朱白のバランスが  
奇抜で空間が美しい。

実直に刻されている。  
起終刀の処理に留意を。



田畑 蘭青



中村 萬径

長足の進歩を感じる。  
腐食に一考を。

難しい金文で刻し  
線の瘦肥も面白い。

【出品規定】しめきり：十月十七日

- ① 印(印影)の大きさは3センチ以内(形は自由です。楕円・長方形等も可)
- ② 印影を白の半紙1/4に押印し、右側に条幅出品券を貼ってください。
- ③ 応募資格に特に制限はありません。
- ④ 課題文字以外の随意作品も出品できます。消しゴム印も可。